

心の声を聞いてくださる神

創世記二二章

一方、神は子どもの泣き声を聞かれ、神の使いが天からハガルに呼びかけて言った。「ハガルよ、どうしたのか。恐れることはない。神はあそこにいる子どもの泣き声を聞かれた。」(17)

アブラハム夫妻にイサクが誕生したことにより、つかえめハガルと息子イシュマエルは追い出されてしまいました。親子は行く当てもなく荒野を彷徨い、水も底を突き、ハガルは我が子が死んでいくのを見るのに耐えられず、イシュマエルを木の下に置いて離れたところから見守りました。そのとき、天から聞こえた声が今日の聖句です。誰も自分たちの苦しみを分かってくれないという心の叫びを神は聞いておられたのです。ハガルは息子の名はイシュマエル、「神は聞いてくださる」という名です。全ての人に見捨てられたというその時にも、神はハガルとその子の叫び声を聞いておられたのです。人に捨てられたと感じるような苦しみの時にも、天の神が私たちの声を聞いていてくださるとは、何と幸いなことでしょう。神は今日も私たちの声を聞いておられます。